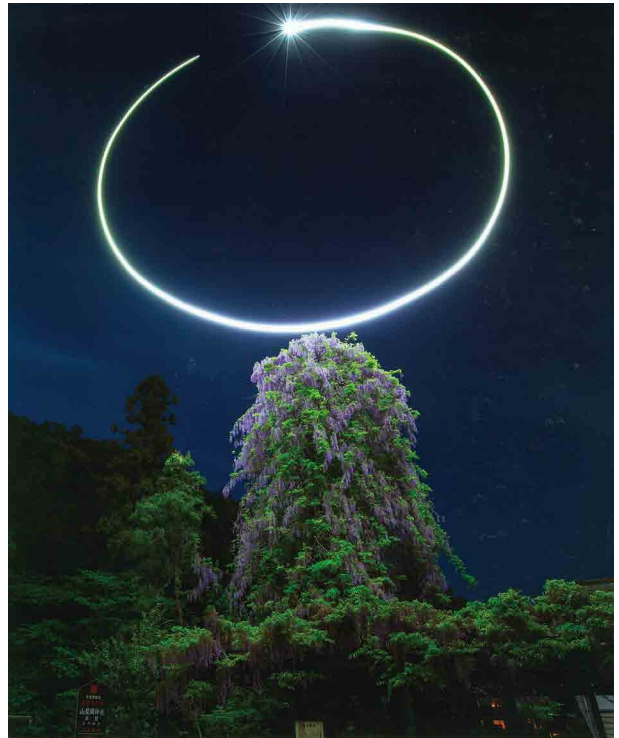


## II 部門別フェスティバル

美術展・書道展・写真展より



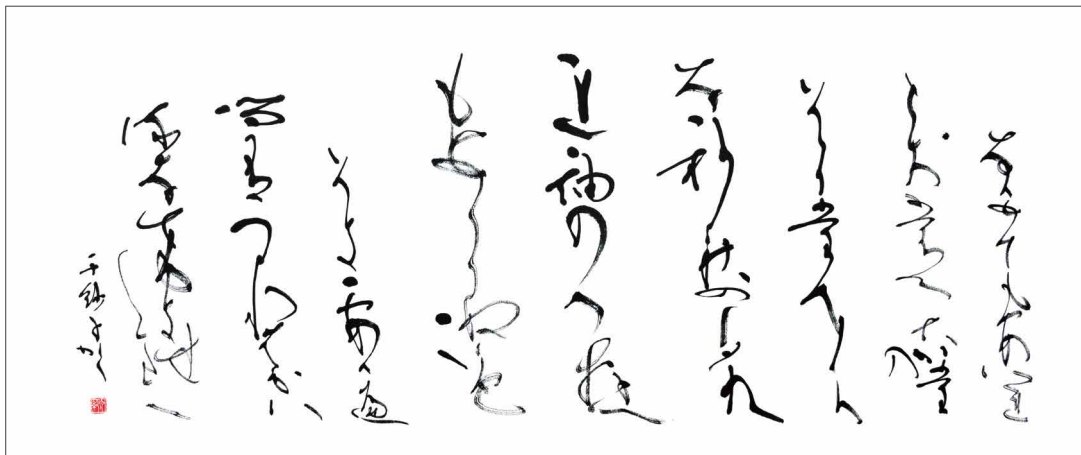
県民文化祭賞 油彩 「再生出発に関する考察のためのコンポジション」  
白須 寛子（笛吹市）



県民文化祭賞 カラー単写真の部 「山梨岡神社の藤」  
岩崎 利彦（笛吹市）



準県民文化祭賞 漢字 「暮煙波湖遊人」 山本 珠麗（甲府市）



県民文化祭賞 かな 「新古今和歌集より」 百瀬千紗子（甲府市）

## 美術展

11月4日(月・休日)～11月10日(日) 9:00～17:00  
 (5日は休館日、最終日は16:00まで)  
 山梨県立美術館・県民ギャラリーA・B・C

## 染色体験教室 藍染めに挑戦

8月11日(日) 10:00～12:00  
 山梨県立美術館 ワークショップ室

### 開催状況

ここ数年応募数も安定し、美術展の定着を感じている。美術部門では、より多くの県民が文化、芸術に興味を持ち、親しむ事を願い、特に若い人の力の発揮出来る場となればと、学生については出品し易いよう考慮もしている。第19回美術展は特に傑出した作品は無かったものの、全般的にレベルが向上し、密度の高い作品が見受けられた。油彩の応募の多い中、日本画、水彩での力作も目立ち、彫刻、工芸も微増したのは嬉しい傾向である。来年20回目を迎える県民文化祭の意向が実を結び、醸成されてきているのではないだろうか。

参加促進事業「染色体験教室・藍染めに挑戦!」では、藍染染色教室3回目となったが、参加希望が多く当日は毎回参加している方、夏休み中もあって親子で参加している方も多くいた。2時間ほどでオリジナル藍染めバッグが出来上がるので皆様大変満足していた。

今年度の実施状況をふまえ、今後も美術体験教室を精力的に行うことにより、美術部門のさらなる活性化に尽力していく予定である。

#### ○美術展

| 部門    | 応募人数 | 応募点数 | 入賞・入選点数 | 招待 |
|-------|------|------|---------|----|
| ・油彩   | 66   | 69   | 54      | 37 |
| ・水彩   | 22   | 25   | 22      | 7  |
| ・版画   | 6    | 9    | 6       | 7  |
| ・日本画  | 8    | 8    | 8       | 5  |
| ・水墨墨彩 | 6    | 6    | 3       | 4  |
| ・彫刻   | 3    | 3    | 2       | 4  |
| ・工芸   | 8    | 8    | 8       | 6  |
| ・複合立体 | 1    | 2    | 1       | 2  |
| 計     | 120  | 130  | 104     | 72 |

陳列総点数 176点

(入選104点、審査員・招待72点)

入場者数 1,203名

#### ○染色体験教室

指導者数…………… 2名

参加者数…………… 41名



## 書道展

11月13日(水)～19日(火) 9:00～17:00  
(18日は休館日、最終日は15:00まで)

山梨県立美術館・県民ギャラリーA・B・C

### 書道体験教室～カレンダーに書いてみよう～

12月15日(日) 14:00～

山梨県立美術館・ワークショップ室

### 開催状況

令和元年11月12日、中央書壇より日展会員の岡梨屋先生をお招きし、第19回やまなし県民文化祭書道展の審査が行われた。

今回展の応募総数は337点と、非常に多くの方々にご出品頂いた。内、入選、入賞者319点。委嘱出品63点と合わせ、県民ギャラリーA・B・Cを使用し、382点の展覧となった。

審査総評として、「書体、作風はバラエティーに富み、レベルの高さに驚いた。技術的にも高度な作品が多く見られ、審査では白の部分が如何に綺麗に目に映るか、屈託の無い伸びやかな線で書けているか、を重視した。」第一席のやまなし県民文化祭賞には百瀬千紗子さんのかな作品が選出された。その評は、「線が伸び伸びとして澄み切っている。横展開の作品の中で、作品中央上部に一番の墨を使い、視覚的にも印象に残る表現となった。」と。その他、準県民文化祭賞1点、優秀賞9点、奨励賞10点、計21点の入賞者と入選作品が選考された。

会期中には、定着してきた、書道部門のギャラリートークが2回行われ、多くの書道愛好者が訪れ好評を得ていた。

また、12月15日、書道部門の参加促進事業「書道体験教室」を美術館ワークショップルームにて、毛筆を使ってのカレンダー作りを指導した。たくさんの親子連れの参加を得て、大盛況の楽しい一時であった。



#### ○書道展

##### 応募点数

|            |      |
|------------|------|
| 漢字         | 167点 |
| 一字書        | 60点  |
| 調和体        | 28点  |
| かな         | 41点  |
| 篆刻         | 17点  |
| 刻字         | 24点  |
| (公募) 出品総点数 | 337点 |
| 委嘱出品数      | 63点  |
| 陳列総点数      | 382点 |
| 入場者数       | 826名 |

#### ○書道体験教室

|      |      |
|------|------|
| 指導者数 | 10名  |
| 参加者数 | 100名 |

## 写 真 展

10月25日(金)～11月1日(金) 9:00～17:00  
(28日は休館日、初日は13:00～ 最終日は15:00まで)  
山梨県立美術館・県民ギャラリーA・B

## 写真家 赤城耕一 写真講座

11月16日(土) 第一部13:30～14:30  
第二部14:45～16:00

山梨県立男女共同参画推進センター(びゅあ総合)2階中研修室

### 開催状況

第19回やまなし県民文化祭写真部門の応募は、8月31日締め切りで行われ、応募作品の数では昨年より34点少ない723点でした。

本年の作品の審査は写真家の小林紀晴氏に依頼、非常に厳正な審査が行われ、滞りなく終了することができました。

本年度の文化祭賞には岩崎利彦さん(笛吹市)の「山梨岡神社の藤」(カラー単写真の部)が選ばれました。岩崎さんの作品は地上から藤の蔓と花を撮影したもので、木の上からドローンでライトアップされたものであることがわかりました。

次に展示についてですが、本年度は展示会場のレイアウトを変えました。ギャラリーAに一般入賞者・入選者の作品を、ギャラリーBに小中高生の入賞者・参加者の作品を展示。以前より見やすくなったと好評でした。

参加促進事業は11月16日出写真家の赤城耕一氏を招いて写真講座を実施。内容としては県下の写真クラブの有志20名より作品を出してもらい、スクリーンに投影、講師より作品のよい点、改善点などをいただき、本年も有意義な写真講座であったと思っています。

#### ○写真展

##### 応募点数

モノクロ単写真の部……………69点  
カラー単写真の部……………178点  
ネイチャー単写真の部……………119点  
組写真の部……………56点  
中高生の部……………301点  
合計 723点

応募者数……………214名  
入場者数……………1,110名

#### ○写真家 赤城耕一 写真講座

参加者数……………60名



## 華道展

10月10日(木)～15日(火)

10：00～18：30

(12日は台風19号接近に伴う影響を考慮し中止、13日は17：00まで、最終日は16：00まで)

防災新館オープンスクエア

## いけばな体験教室

4月13日(土)～14日(日)

13：30～16：00

岡島百貨店・7階大催場

### 開催状況

第19回やまなし県民文化祭華道展は前回と同一会場、県防災新館オープンスクエアを会場に開催いたしました。会場作りに当たっては県生涯学習文化課の皆様のご協力の下、前年に勝る会場作りに応え季節満載の作品群、伝統花と創作モダン花の饗宴により、花の初秋の演出が会場を埋め尽くしました。又「いけばな体験教室」については例年にない会場の都合により第27回山梨県華道協会展の会場の一遇に於いて開催し、老若男女多数の参加の下例年以上の成果を得ました。



#### ○華道展

出瓶流派数……………17流派

出瓶者数……………51名

作品点数……………51点

入場者数……………964名

#### ○いけばな無料親子体験教室

参加者数……………120名

指導者……………17名

## フラワーデザイン部門展示会 れいわ花もよう

11月30日(土)～12月1日(日) 10:00～19:00  
甲府市総合市民会館2F 遊亀公民館展示室

## フラワーデザインワークショップ

11月30日(土)～12月1日(日) 14:00～15:15  
フラワーデザイン展示会会場奥 講習会スペース

### 開催状況

第19回やまなし県民文化祭フラワーデザイン展示会は、令和元年11月30日・12月1日の二日間、恒例となりました甲府市総合市民会館2F・遊亀公民館展示室で開催、天候にも恵まれ初日朝から多くのご来場者を得ました。

新しい時代・令和を迎え始めての開催となり展示会タイトルを れいわ～花もよう～と題し、出展者各々が時代を思いデザインした多彩な作品に「この心地よい香り豊かな空間を出たくない…幸せな一時ですね」と好評でした。開催初日のテレビニュースで沢山の作品が映され「テレビを見て…」と訪れた方も多く、今回も報道の重要性を感じました。

両日で行いましたワークショップは、体験講習作品を展示会場でご紹介し、会場で希望なさる方々もあり定員をオーバーする参加者を得ました。特に中・高校生の受講者は学校等の都合で設定しました土曜のみでなく日曜もあり、今回は一般より多い受講者となりました。

やまなし県民文化祭も次回は20回を迎えますので、時代をリードする花の魅力をより多くの方に伝えられたら…と一同新たな気持ちで臨みたいと思っております。

#### ○展示会

出展者……………33名  
入場者数……………800名  
出品点数……………50点(合作も含む)

#### ○ワークショップ

指導者数……………各4名(2日間)  
参加者数……………52名(2日間)



## ハンドクラフト展

10月26日(土)～11月1日(金) 9:00～17:00  
 (28日は休館日、最終日は15:00まで)  
 山梨県立美術館・県民ギャラリーC



## ハンドクラフト体験教室

8月3日(土) 10:00～15:00  
 甲府市遊亀公民館2階・講義室2号

### 開催状況

第19回やまなし県民文化祭「ハンドクラフト展」が山梨県立美術館・県民ギャラリーCにて開催され、会員12団体、公募作品合わせて16ジャンル75点の作品が出展されました。大賞は藤工芸の「秋の輪舞」が受賞されました。その作品は、パリ・ルーブル美術館に行った時にイメージを固めてこられたと伺いました。今期は高校生、中学生も多くご来場いただきました。色々な質問をしてくださるなど熱心に、また楽しそうに観ていただいております。ご来場者の方々から大変ご好評をいただき素晴らしい展示会となりました。ご来場者の方々から毎年楽しみに来ていますのお声掛けをいただき、来年は20周年を迎えるのだと感じました。会員一同、イメージを膨らませて、次展に向けて努力していきたいと思っております。



体験教室は「銀クラフト」銀のアクセサリと銀アクセサリを飾る華やかな額づくり、「デコパージュ」ティッシュBOXを色どり鮮やかな絵柄でオリジナルティッシュBOXづくりを体験しました。夏休み期間でもあったため親子で楽しむ良い機会となったとご好評でした。



#### ○ハンドクラフト展

参加者数 会員……………12名  
 一般公募入選者……63名  
 合計……………75名

入場者数……………1,273名

#### ○ハンドクラフト体験教室

参加者数……………54名  
 指導者……………2名



## 文 学

表彰式 令和2年2月22日(土)  
14:00~16:30  
山梨県立文学館・研修室  
新型コロナウイルス感染症  
拡大防止のため中止

## 俳句 夏の終わりの俳句会

8月18日(日) 12:30~15:30  
山梨県立文学館 研修室

### 開催状況

第19回やまなし県民文化祭 文学部門の作品募集は、公募要項一部修正の上例年どおり、小説・児童文学・エッセイ・詩・短歌・俳句・川柳の7種目で実施し、計219名から、251作品が寄せられ、11月22日から12月4日の間に各種目で審査を頂きました。

特に本年度は詩、短歌、俳句の部門で作品数及び出品者数が20~30名ほど減少。逆に小説、児童文学、エッセイでは作品数及び出品者数が増加した。それらの原因については検討中である。

参加促進事業では本年度は、俳句のワークショップが開催され、夏の基礎実力アップの為に、井上、保坂、長田、宮下各講師のもと俳句実作の試行が行われ好評であった。さらなる俳句の実践に役立ったと思われます。

#### ○応募者数

小説.....12名  
児童文学.....13名  
エッセイ.....17名  
詩.....16名 (24作品)  
短歌.....56名  
俳句.....49名  
川柳.....80名  
(合計).....219名 (251作品)

#### ○短歌ワークショップ

講師.....4名  
参加者数.....45名



#### 県民文芸 2019



第19回やまなし県民文化祭  
文学作品集「県民文芸2019」



## 大茶会

10月13日(日) 10:00~15:30  
山梨県立男女共同参画推進センター  
(ぴゅあ総合)

## 茶道体験教室

12月8日(日) 10:00~15:50  
素心庵(芸術の森公園茶室)

### 開催状況

#### ・大茶会

表千家、裏千家、大日本茶道学会、有楽流、江戸千家、煎茶道の6流派がそれぞれおもてなしの心で季節の風情を取り入れた茶会をくり広げました。2,000名の客を迎え天候にも恵まれ歴史ある伝統文化茶道を多くの方に知って戴きました。特に県生涯学習文化課より視察に見えてくださり、又会場もリザーブしてくださった事に感謝します。

#### ・茶道体験教室

今年の担当は裏千家であり、8名が指導にあたりました。参加者は幼児から小中学生大人まで、60名の皆様を5回に分け指導にあたりました。内容は①つくばいの使い方、②茶席の入り方、③立ち方座り方、④茶の戴き方、⑤菓子の取り方、⑥茶の点て方等を指導しました。参加者からは今まで知らなかった世界が開けたと嬉しい言葉を戴きました。日本の伝統文化茶道の良さを知って戴き指導者一同は実りの多い一日だったと感謝しております。

#### ○大茶会

参加流派…………… 6流派  
指導者…………… 180名  
来場者…………… 2,000名

#### ○茶道体験教室

指導者…………… 8名  
参加者…………… 60名



## 音楽祭

9月8日(日) 12:30開場、13:00開演  
YCC県民文化ホール・小ホール

(プレオーディション (ピアノのみ)  
8月4日(日) 南アルプス市カナリアホール  
オーディション  
8月18日(日) YCC県民文化ホール・小ホール)

## ジュニアコンサート

令和2年2月2日(日) 13:30開場、14:00開演  
甲斐市双葉ふれあい文化館

### 開催状況

今年も未就学児から社会人までの幅広い年齢層に参加していただきました。プレオーディション、オーディション、音楽祭には、県内外の熱心な音楽愛好家の方もお越しになり、バロックから近現代曲までの様々な音楽を楽しまれていました。音楽祭第1部の出演者は、プレオーディション、オーディションを経ていることもあり、その演奏に日頃の努力がうかがわれました。終演後には審査発表、講評、表彰式を行いました。また第2部の特別演奏には、音楽部門専門委員でもありますピアノの池山洋子さん、バス・バリトンの志村文彦さんお二人の素晴らしい演奏に盛大な拍手をいただきました。

参加促進事業は昨年同様「ジュニアコンサート」を開催しました。音楽祭オーディションで特に優秀であると専門委員に認められた、高校生までの10名による演奏会です。ピアノ、ヴァイオリン、声楽、フルートとヴァラエティに富んだプログラムで、将来有望な若者の音楽を楽しむことができました。

本年度は、音楽祭、ジュニアコンサートなどの宣伝活動に力を入れるつもりでしたが、努力不足であったと反省しております。来年度も、更なる活動内容の向上発展に努めて参ります。

- 音楽祭
- 応募者総数……………59組
- ・プレオーディション
- 参加者数 (ピアノのみ) ……48名
- ・オーディション
- 参加者数…30組 (プレ合格者19名を含む)
- ・音楽祭
- 第1部出演者数 ……13組
- 第2部出演者数 ……3名
- ・入場者数……………約350名
- ジュニアコンサート
- ・出演者数……………10組
- ・入場者数……………約250名



## 合唱フェスティバル 2019

8月31日(土) 13:00～

9月1日(日) 9:35～

東京エレクトロン葦崎文化ホール

### 開催状況

県内の様々な合唱団が競演する合唱フェスティバルは、2日間とも熱気に満ちたステージでした。子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層の方々にお越しいただき、それぞれの演奏が終わるたびに大きな拍手により、会場は緊張感の中にも和やかな雰囲気になりました。

講師は、北原幸男（指揮者）、永井和子（声楽家）、樋本英一（指揮者）の3名の先生方で合唱演奏に関わるテクニックや表現の仕方等、適切なアドバイスをいただき、参加団体の今後の演奏活動に大変役立つものとなりました。

例年このフェスティバルは関東大会への代表を決定するコンクールの部と一緒に開催しています。コンクールの部では、それぞれの団体が高度な演奏でしのぎを削り、フェスティバルの部ではそれぞれの団体が個性的な合唱をのびのびと演奏しています。どちらも合唱の重要な要素であり、それぞれの参加者が互いの演奏により、刺激し合う素晴らしい機会となっていると感じます。

このフェスティバルが県内の合唱音楽向上のためにさらに発展していくことを願ってやみません。

出演団体数……………19団体

入場者数……………1,019人



## 邦楽部門公演会

10月20日(日) 10:00~17:00  
YCC県民文化ホール・小ホール

## 親と子の尺八体験教室

- ①11月30日(土) 14:00~16:00  
山梨県生涯学習推進センター交流室
- ②12月7日(土) 14:00~16:00  
山梨県生涯学習推進センター交流室
- ③12月21日(土) 14:00~16:00  
山梨県生涯学習推進センター交流室
- ④1月11日(土) 14:00~16:00  
山梨県生涯学習推進センター交流室
- ⑤1月18日(土) 14:00~16:00  
山梨県立男女共同参画推進センター (びゅあ総合)

## 開催状況

邦楽部門は、箏、三絃、尺八、横笛、鼓による古典及び近代曲の合奏や独奏を、各団体が主催する発表会で演奏する他、地域の文化事業への協力活動等を定期的に行い、団体によっては、老人ホーム、病院、学校に出向き、楽曲披露を行っている。しかし、近年、これらの伝統楽器と音楽への関心は、徐々に減少してきており、演奏者の高齢化や後継者の不足から、衰退の危機に直面している。邦楽を幅広く理解し、日本の伝統楽器と音楽を存続していく為には、邦楽に携わる者の、なお一層の努力は勿論、行政や教育現場からの深い理解と援助が必要不可欠と考えられる。こうした点から、毎年実施されている県民文化祭では、邦楽部門を設定していただき、発表やワークショップ等の機会を与えられていることは力強く、一層の励みとなり、邦楽部門に係る全員が全力で目標達成の為に努力を続けている。今年度も各団体から31曲が舞台上で披露され、日頃の成果を発表し、会場にお越しいただいた県民の皆様にご静かな伝統楽器の音色を楽しんでいただいた。

毎年実施されている邦楽演奏のワークショップは、今年度、尺八が取り上げられ、県民各位から応募された11名の皆様に尺八の演奏の基本を学んでいただき、簡単な唱歌を吹くことが出来るまでになった。こうした体験から、伝統楽器の魅力に目覚めてもらえた人が一人とは言わず増加していくことを願っている。

- 邦楽部門公演会  
出演団体……………31団体  
出演者数……………185名  
入場者数……………400名
- 親と子の尺八体験教室  
指導者数……………9名  
参加者数……………11名



## 演劇公演

劇団やまなみ「ハテルマハテルマ」  
 (作・構成/栗原省 演出/河野通方)  
 6月16日(日) 13:30開場、14:00開演  
 笛吹市スコレーセンター

### 開催状況

日本の一番南端に沖縄の八重山諸島があります。この八重山とか石垣島という名前は多くの人達が知っています。そこは太陽とサンゴ海のすばらしい自然の島々の集まりで観光客は一年に数十万人も訪れています。

「光と影」という言葉がありますが、本来八重山の島々は明るく光にあふれた自然だったのに、どうして影をもつことになったのか。

1945年3月、太平洋戦争の末期、本土防衛のため沖縄で連合軍をくいとめると大勢の日本軍がのりこんできました。そして「波照間住民は南風見田に疎開せよ」との命令が下り、住民は身一つで南風見田に追いたてられました。

日本軍では食料のことを「糧秣」と呼び、糧とは食料、秣とは牛馬の飼料のことです。この頃には日本軍の糧秣は危機的状況になっていて、そこで日本軍は食料の現地調達と称して住民を脅して食料を横取りし、更には牛馬、にわとり、ヤギなどの家畜を強奪しました。これは、日本軍が糧秣確保のために行った謀略と言われています。

そして怖い伝染病であるマラリアを媒介するハマダラ蚊が棲む南風見田（現在はハマダラ蚊はいない）へ追い出され、マラリア病にかかって亡くなった住民は四千人近くにのぼったと言われています。これが「もう一つの沖縄戦」と呼ばれている戦争マラリアの真実の物語です。

劇団では、この朗読構成劇ハテルマハテルマを、戦争のない平和な時代、生命の尊さを願いつつ上演しました。

出演者数（裏方含む）……………19名  
 入場者数……………180名



# ダンスフェスティバル2019

11月9日(土)

16:30開場、17:00開演

甲府市総合市民会館・芸術ホール

## 開催状況

令和元年と云う、新しい年号になり、一回目の文化祭となりました。

今年はちょうど県都である甲府の「開府500年」の記念すべき年と重なり、今までの洋舞の蓄積を元に、これからの舞台芸術の普及と継承、発展を、深く考える年となりました。

今回は、「輝く未来に向けて」と題し、これからの山梨を担う出演者全員が舞台上がり、活気あるフィナーレで幕を閉じることが出来ました。普段一緒に練習をしていない人たちと、同じ目的を持ち、同じ空間に立つことは、大変良い経験だったことと思います。

洋舞部門は、クラシックバレエと、モダンダンスで構成されておりますが、時の流れと共に、クラシックバレエの基礎訓練をもとに、コンテンポラリーダンスなど、新しいダンスが生まれ、研鑽する生徒たちは幅広い作品を踊るようになりました。今回のプログラムでも、個性あふれる様々な作品があり、日頃の弛まぬ努力が見えた舞台でした。また、数回前から公募を行い、協会に属していないスタジオからも参加して頂き、少しずつですが、裾野を広げる努力を試みております。

少子化の波はありますが、洋舞部門は幸いなことに、多くの子どもたちが汗を流し、努力を重ねています。この山梨で、美しく大きな花を咲かせてくれることを、そして、その美しい花を美しいと感じてくださる心に触れられることを、切に希望しております。

|      |       |
|------|-------|
| 参加団体 | 5団体   |
| 参加者数 | 約120名 |
| 入場者数 | 約700名 |



## 朗読フェスティバル

11月23日(土) 13:30~15:30  
山梨県立文学館・講堂

## 夏の朗読教室

8月4日(日) 10:00~15:30  
山梨県立図書館2階多目的ホール

### 開催状況

#### ・朗読フェスティバル

県内の朗読を楽しむ仲間が集まり、互いの交流と朗読の輪を広げることをめざしてフェスティバルを開催しております。公募により参加された小学生から年配の方までが、様々な作品を朗読して下さいました。

参加促進事業として実施している小学生・中学生・高校生の発表は、若々しさがあふれていました。一方、人生経験豊かな出演者の方々は味わい深い朗読表現があり、それぞれが日ごろの成果を十分に発揮できました。

そして、出演者の方から、素晴らしいステージを作っていたと嬉しい感想もいただきました。

今後も、出演者・ご来場者・スタッフ一体となりフェスティバルを盛り上げて参ります。

これからの課題は、若い方達への更なる参加を呼び掛けることです。

#### ・夏の朗読教室

世代を超えて、たくさんの方々にご参加下さいました。

朗読練習後成果を発表し、他の参加者の朗読を聞くことは貴重な経験となります。

この教室の実施により、参加者をフェスティバルへ繋げていくことができました。



#### ○朗読フェスティバル

出演者(組)数……………11組26名

入場者数……………218名

#### ○夏の朗読教室

指導者数……………9名

参加者数……………86名

## 太鼓部門公演

11月24日(日) 12:30~16:00  
YCC県民文化ホール・小ホール

## 太鼓ワークショップ

8月18日(日)、9月1日(日)、10月6日(日)、10月27日(日)、11月17日(日)  
13:00~15:00 天野宣音楽事務所  
11月24日(日) 太鼓部門公演 出演

### 開催状況

第19回やまなし県民文化祭太鼓部門公演は去る11月24日(日)コラニー文化ホール小ホールにて12時開場、12時30分開演にて800名収容の会場がほぼ満席になるほどのご来場を頂き開催されました。

私ども太鼓部門は、演奏者、聴衆の皆様には日本の伝統音楽である打ば響く、誰でも打てる打楽器、和太鼓の魅力を多くの方々に親しんでいただく事を一義にしております。今年は、参加促進事業特別チーム、認定こども園甲府西幼稚園職員太鼓、三珠歌舞伎太鼓の会、高根ふるさと太鼓保存会、鼓摩の会和太鼓和樂、襲・火男亀会、山梨県立韮崎工業高等学校太鼓部、天野宣記念山梨県太鼓交響楽団に加え、新たに菜の花保育園、南アルプス市鼓友連合会が加わり10団体の出演となりました。各チームとも大舞台での公演に向けて昼夜を問わず稽古を重ね最高のパフォーマンスを披露でき、ご来場いただいた方々にも各チームの和太鼓に寄せる熱い思いが伝わったものと感じております。

このような機会を通して広く県民に和太鼓への興味を持っていただき一人でも多くの仲間を増やしていきたいと考えています。太鼓部門一同、このような大舞台での公演の機会を与えていただいている山梨県の生涯学習文化課の各位、出演者、裏方を務めていただいたチームの各位、歴代の部門長各位、故天野宣先生、中込顧問に対してあらためて深謝いたしますとともになお一層の和太鼓文化の発展と普及活動に専心努力して参る所存ですので、変わらぬご協力ご支援をお願いいたします。

#### ○太鼓部門発表会

参加団体・出演者数…118名(10団体)  
入場者数…………… 390名

#### ○太鼓ワークショップ

指導者数…………… 2名  
参加者数…………… 9名





## 吟剣詩舞道大会

12月1日(日) 12:00~16:30  
山梨県立文学館・講堂

### 吟剣詩舞道大会—幼少青年発表の部

12月1日(日)  
山梨県立文学館・講堂

#### 開催状況

吟剣詩舞部門を構成する4団体、29会派が一堂に会して発表の場を得られるこの大会は、有意義、且楽しみな研修の場でもあった。今回の大会は、第一部 流会派発表の部では、それぞれの会派の独自性を最大限に活かした合吟、詩舞、独吟で「人生の喜怒哀楽」を綴り、第二部 幼少青年発表の部は、小中高生から社会人となった若者が漢詩の世界を初々しく、又力づよく表現した。高齢化が急激に進んでいる現状では、参加促進事業の目的でもある若い世代を如何に育成していくかが、課題でもあり、積極的に取り組むことが急務であると思いを新たにされた。第三部 構成吟では、参加会派がそれぞれの特徴を活かし物語の世界を紡ぎだして、楽しく見ごたえのあるものとなった。構成吟の中でも「松尾芭蕉の世界」では小学一年生を交えた子供たちと大人で構成し、工夫を凝らした演出はこれからの吟界の有り方を示唆しているように思えた。オープニングの「富嶽」大合吟で幕開けし、文部省唱歌「ふじの山」を出演者、会場の来場者と共に大合唱して幕を閉じた。いくつかの課題を含みつつ、伝統芸能を末永く引き継いでいって欲しいと願う大会でもあった。



#### ○吟剣詩舞道大会

参加団体……………29会派  
出演者数……………145名  
入場者数……………250名

#### ○幼少青年発表

参加団体……………4会派  
出演者数……………9名

## 第58回山梨県吹奏楽祭

- 峡北支部 令和2年2月11日(火・祝) 開場11:45、開演12:00  
 東京エレクトロン韮崎文化ホール  
 中巨摩支部 令和2年2月11日(火・祝) 開場10:20、開演10:30  
 桃源文化会館  
 甲府支部 令和2年2月9日(日) 開場12:30、開演13:00  
 YCC県民文化ホール  
 峡南支部 令和2年1月26日(日) 開場12:30、開演13:00  
 身延町総合文化会館  
 峡東支部 令和2年2月9日(日) 開場12:30、開演13:00  
 甲州市民文化会館  
 南都留支部 令和2年2月9日(日) 開場11:30、開演12:00  
 ふじさんホール  
 北都留支部 令和2年3月20日(金・祝) 都の杜うぐいすホール  
 (新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため  
 開催を中止)

### 開催状況

吹奏楽部門フェスティバルは、今年で58回目を数える山梨県吹奏楽祭を兼ねて開催されている。以前は県全体1会場で開催していたが、現在では7会場に分かれて各地域で開催されている(山梨県吹奏楽連盟の7つの支部がそれぞれ開催する形式)。小学校団体から一般団体まで参加しており、各団体の発表・交流の場として、また地域音楽文化への寄与の場として大きな役割を担っている。

本年度もインフルエンザの影響を受けながらも111団体、約2,000名の演奏者が集い、いずれの会場も大変な盛会となった。ソロ・アンサンブル・吹奏楽編成など様々な演奏形態で発表が行われ、選曲もクラシックからジャズ、ポップスまで非常に幅広く、吹奏楽の魅力を十分に発揮する会となった。また複数の団体による合同演奏での参加も数多く、吹奏楽団体にとっても貴重な交流の場となっている。

北都留支部は、令和2年3月20日(金・祝)都の杜うぐいすホールでの開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、急遽中止となった。

|      |         |
|------|---------|
| 出演団体 | 111団体   |
| 出演者数 | 約2,000名 |
| 入場者数 | 約2,600名 |



## 第19回山梨ポピュラー音楽フェスティバル

令和2年2月16日(日)

15:00~18:00

甲斐市双葉ふれあい文化館ホール

### 開催状況

第19回山梨ポピュラー音楽フェスティバル決勝大会は、令和2年2月16日双葉ふれあい文化館ホールで開催した。

この音楽祭は、多種多様な音楽を通してのコミュニケーションの高揚と音楽文化の創造と育成を主旨として、生涯学習の充実、地域を愛する心の醸成を図ると共に、地域経済に文化が潤滑油として機能する、新しい地域創造を目指している。また、高い志を持って日夜研鑽に励んでいる人たちを奨励することも意図している。

今大会には、県内外から25組の応募があり予選のテープ審査を経て、12組が本大会に進み、音楽構成、演奏技術、創造性、などを審査基準として、グランプリ、優秀賞、奨励賞、審査委員特別賞を設け顕彰し、音楽活動の更なる質的向上と底辺の拡大を図った。

今回の特徴は、地域での文化活動を活発に行っているグループや高校生、プロを目指して研鑽に励んでいるグループ、そして、ガレージパブロックや島唄バンドなど、広いジャンルからの応募者が多く見られ、目的としている主旨が確実に浸透していると感じている。

この音楽祭が地域に定着し、広く認知され開催できるのは、物心両面から支えていただいております協賛各社や実行委員各位のご理解の賜物と感謝している。

参加者数……………12団体 40名  
入場者数…………… 238名



## 第12回アコースティック音楽祭

11月3日(日) 12:00開場、12:25開演  
東京エレクトロン葦崎文化ホール

### 開催状況

今年度は東京エレクトロン葦崎文化ホールにて、「第12回アコースティック音楽祭」を開催しました。ウクレレ、オカリナ、ケーナなど多種多様な民族楽器により、フォルクローレなどの民族音楽だけでなく、ポピュラー音楽、歌謡曲、童謡など様々な楽曲が演奏され、会場は終始癒やしのムードに包まれていました。

|       |      |
|-------|------|
| 出演団体数 | 13団体 |
| 出演者数  | 65名  |
| 入場者数  | 45名  |



## 第12回甲斐の国ジャズフェスティバル

10月6日(日) 12:00開場、12:25開演  
甲斐市双葉ふれあい文化館

### 開催状況

第12回目を迎えた「甲斐の国ジャズフェスティバル」を甲斐市双葉ふれあい文化館で開催しました。8バンド179名、小学生から80歳過ぎの方まで、幅広い年齢層が参加し、年代を超えて、交流を深めました。聴衆の心をつかむ見事な演奏が、会場いっぱいに響き渡りました。会場に駆け付けた観客からは、このフェスティバルをますます盛り上げてほしいとの期待の声が寄せられました。

|       |      |
|-------|------|
| 出演団体数 | 8団体  |
| 出演者数  | 179名 |
| 入場者数  | 343名 |



## 第11回ゴスペル・アカペラフェスティバル

7月13日(土) 13:00開場、13:30開演  
甲斐市双葉ふれあい文化館

### 開催状況

第11回目を迎えたゴスペル・アカペラフェスティバルは、昨年度と同様甲斐市双葉ふれあい文化館にて盛大に開催されました。今年には13団体121名が出演し、美しい歌のハーモニーと生き生きとした笑顔のパフォーマンスで会場を盛り上げました。フィナーレのマスクワイヤではWe Are The Worldを披露し、会場全体が一体となってフェスティバルを締めくくりました。

|       |      |
|-------|------|
| 出演団体数 | 13団体 |
| 出演者数  | 121名 |
| 入場者数  | 185名 |



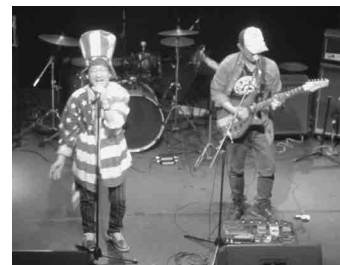
## 第11回ロックフェスティバルin桜座

11月16日(土) 12:30開場、13:00開演  
桜座

### 開催状況

第11回となったロックフェスティバルは、これまでと同様に桜座を会場に開催しました。公募により審査を通過した11団体が集い、オリジナル曲やカバー曲を披露し、8時間に渡って熱いステージが繰り広げられました。それぞれの団体にそれぞれのカラーと工夫が見られ、8時間という長丁場でも観客を飽きさせないステージとなりました。今後は、さらに若年層の取り込みを図りつつ、山梨のロック文化を広めていきたいと思えます。

|       |      |
|-------|------|
| 出演団体数 | 11団体 |
| 出演者数  | 48名  |
| 入場者数  | 217名 |



# 部門別フェスティバル受賞者一覧

## ■県民文化祭賞

| 部 門 |          |         |
|-----|----------|---------|
| 美術  | 油彩       | 白須 寛子   |
| 書道  | かな       | 百瀬千紗子   |
| 写真  | カラー単写真の部 | 岩崎 利彦   |
| 文学  | 小説       | 森 うずまき  |
| 〃   | 児童文学     | しいな さいち |
| 〃   | エッセイ     | 松下佐智子   |
| 〃   | 詩        | 藤井 工人   |
| 〃   | 短歌       | 依田 邦恵   |
| 〃   | 俳句       | 中村 照子   |
| 〃   | 川柳       | 一瀬 文男   |

## ■準県民文化祭賞

| 部 門 |      |       |
|-----|------|-------|
| 音楽  | バリトン | 植田 大樹 |
| 書道  | 漢字   | 山本 珠麗 |
| 文学  | 児童文学 | 沢鳥 一郎 |
| 〃   | 川柳   | 饗場 導代 |

## ■県民文化祭優秀賞

| 部 門 |        |       |
|-----|--------|-------|
| 音楽  | ピアノ    | 小林 広歩 |
| 〃   | ヴァイオリン | 福田 羽希 |
| 美術  | 油彩     | 長田 一雄 |
| 〃   | 〃      | 北川 伶菜 |
| 〃   | 〃      | 渡邊 一仁 |
| 〃   | 日本画    | 石川 綾子 |
| 〃   | 水彩     | 保坂 裕一 |
| 〃   | 版画     | 山本かつ江 |
| 〃   | 彫刻     | 若林 克友 |
| 〃   | 工芸     | 廣島 敏  |
| 〃   | 〃      | 藤田 武男 |
| 〃   | 〃      | 森 洋   |
| 書道  | 漢字     | 津金 楊苑 |
| 〃   | 〃      | 朝比奈千沙 |
| 〃   | 〃      | 宮川 翠香 |
| 〃   | 〃      | 林 和輝  |
| 〃   | 〃      | 新海美致留 |
| 〃   | 一字書    | 三枝 青華 |
| 〃   | 〃      | 武川 芳雲 |
| 〃   | 調和体    | 松本 和芳 |
| 〃   | 刻字     | 渡辺 静湖 |

## 部 門

|     |            |       |
|-----|------------|-------|
| 写 真 | モノクロ単写真の部  | 横森 賢治 |
| 〃   | 〃          | 広瀬みち子 |
| 〃   | カラー単写真の部   | 白鳥 正次 |
| 〃   | 〃          | 三澤 久  |
| 〃   | ネイチャー単写真の部 | 沢登 圭造 |
| 〃   | 〃          | 野中 光征 |
| 〃   | 組写真の部      | 白鳥 正次 |
| 〃   | 〃          | 河西 秀吏 |
| 〃   | 小中高生の部     | 内田 愛海 |
| 〃   | 〃          | 小尾 まり |
| 文 学 | 小説         | 飯田 哲夫 |
| 〃   | エッセイ       | 野澤 一彦 |
| 〃   | 詩          | 数野 徳子 |
| 〃   | 短歌         | 笠井 公子 |
| 〃   | 〃          | 進藤 通子 |
| 〃   | 〃          | 茅野 眞澄 |
| 〃   | 〃          | 角田 好弘 |
| 〃   | 〃          | 今村 祐太 |
| 〃   | 〃          | 雨宮つぎ子 |
| 〃   | 俳句         | 越石 一彦 |
| 〃   | 〃          | 富田千代恵 |
| 〃   | 〃          | 仲沢 和子 |
| 〃   | 〃          | 宮本みよ子 |
| 〃   | 〃          | 山本 栄子 |
| 〃   | 川柳         | 石橋恵美子 |
| 〃   | 〃          | 中込 朝子 |
| 〃   | 〃          | 長田喜代子 |
| 〃   | 〃          | 深澤 弘  |
| 〃   | 〃          | 飯窪 正子 |
| 〃   | 〃          | 浅川 昇一 |
| 〃   | 〃          | 斉藤 道子 |
| 〃   | 〃          | 飯田みづほ |

## □第19回山梨ポピュラー音楽フェスティバル

|           |                |
|-----------|----------------|
| グ ラ ン プ リ | Vivid Company  |
| 優 秀 賞     | 新月の薔薇          |
| 奨 励 賞     | 奈良 千尋          |
| 審査員特別賞    | 幡野裕子 with 望月宏記 |